

令和元年度前期 学群教育改善計画

学群(学部)名	基盤教育群
学群(学部)長名	川村 保

1-(1). 授業評価アンケート結果を踏まえ、学群で改善すべき重点課題とその理由について3つ挙げてください。

※なお、前回から継続して同様の課題を記載する場合は、冒頭に「継続」と記載してください。

①	課題	一部の授業科目の履修者数が、例年と比べて極端に少なくなったり、逆に多くなったりしている。
	理由	・学生が主体的に選択した結果である可能性もあるが、時間割の編成により、授業に出やすい時間帯に配置された科目を履修している可能性が考えられる。
②	課題	同じ授業科目を履修しても、「分かりやすかった」と「難しかった」の両極に評価が分かれてしまう場合がある。
	理由	・履修する学生の授業への取り組み態度に差があり、事前事後の学習ができていないかどうか、授業中の集中程度の差が、結果的に理解度の差につながっていると思われる。
③	課題	【継続】学習環境の整備において、まだ不十分な点がある。
	理由	・体育館の整備状況に問題がある。 ・英語科目やアクティブラーニングなどに適した設備が整備されていない教室がある。

1-(2). 上記のそれぞれの課題を解決するための取組と、それらの取組を具体的にどのように進めていくか書いてください。

①	<ul style="list-style-type: none"> ・履修者数が多かった一部の科目を2クラス編成にするなどの対応をし、クラスサイズを平準化することの学生にとってのメリットなども説明してきたが、十分な効果が出ていないので、この取り組みは強化しながら継続していく。 ・また、時間割の位置が変わることで履修者数が変動したりしていることについては、時間割編成の際にできるだけ考慮していくが、科目数や様々な考慮すべき条件があるために時間割編成の自由度は限られている実態もあるので、今後に予定されている大規模なカリキュラム改定を見据えて、準備をしていく。
②	<ul style="list-style-type: none"> ・事前学修や事後学習についての指示に、これまで以上に留意するように、各教員に促す。 ・FD等を通じて、教員側が、学生たちの意識や学力の状況について適切に理解し、幅広い特性を持った学生層への対応をより適切にできるようにしていく。 ・commons等での学生たちの自主的な学びを支援していく。 ・次期カリキュラム改定へ向けての議論の中で、学力別のクラス編成等の可能性についても検討していく。
③	<ul style="list-style-type: none"> ・現在、策定作業に取り掛かっている第3期中期計画の中で、体育館の施設等の整備や各教室の備品の整備に実現を図る。 ・引き続き、時間割編成の中で科目の特性に応じて適切な教室への配置を図るように調整していく。

2-(1). 各科目の授業改善計画から、授業実施・授業改善の良い事例を挙げてください。

・事前学修の参考になるように、次回の授業の予定や教科書の該当するページを、配布している資料に明記することによって、事前学修等、授業外の学習時間を確保している。

2-(2). 上記の事例を学群の中でどのように共有して教育改善につなげていくか書いてください。

・事前学修等、授業外の学習時間については、多くの科目の担当教員が小テストを行ったり、事前課題を課すなど、様々な取り組みを行っているところである。上記の取り組みも含む各教員の取り組みについて、教員会議やFDを通じて、引き続き情報共有を進める。